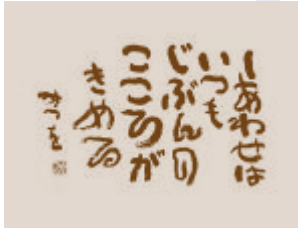


おたより 58号

私のひとりごと

石丸博巳

私は「相田みつを」さんの「しあわせは いつも じぶんのところが きめる」という言葉が大好きです。



「かさ屋の息子と下駄屋の息子」という昔話があります。あるおばあちゃんに二人の息子がいて、一人はかさ屋、一人は下駄屋をしています。おばあちゃんはいつもお寺にお参りに来て泣いていたそうです。



お坊さんが、なぜ泣いているかと尋ねると、晴れの日には傘が売れんで、かさ屋の息子の商売ができません。また雨の日には下駄が売れんで下駄屋の息子の商売ができません。かわいそうじゃ…と言いながら泣いていたそうです。

お坊さんは、「おばあちゃんの思い方が違うんや。晴れた日は下駄屋の息子の事を喜んで、雨の日にはかさ屋の息子の事を喜んでやると、いつもありがたく思えるんでないかの…」と論じたそうです。

どんな些細なことでも喜びととらえれば幸せですが、不満に感じれば不幸な気持ちになります。

自分自身の気持ちをいつも、ありがたいなという心に思えるように教えられた言葉だと思います。私も何事にも「させてもらえる」という感謝の気持ちを忘れずに、いつもしあわせにいられるように頑張りたいと思います。



三国祭山車蔵とは

観光の町「三国」と言っても、三国市街地では旧森田銀行あたりは近年日曜日ともなれば観光客がたくさん訪れるようになりましたが、三国神社にはまだあまり観光客の姿は見えません。私も平日の三国神社の境内へはあまり訪れることはありませんが、訪ねてみると福井県内の神社の中でも一番のたずまいとなっていることに感動します。

その三国神社を核とした、観光地を目指すために、三国祭に奉納する山車人形の常設展示場としての「三国祭山車蔵」が三国神社前に完成いたしました。

その年に奉納された人形の展示や、奉納するために手作りする作業場として、またレンタサイクルを利用した観光の拠点として、そして何よりも地域の人々の交流の場としての施設として大いに活用されますことを願っています。

息子の家に行って食べるご飯はうまいのに なんで我が家のご飯はうまくないんや！

三国町三国東 古市正様

私も以前から水にはこだわりを持っていて、水は一日中離さず、夜寝るときにだっ

て枕元に置いておくほどです。それも水素水という水で、この水だったら身体にも優しい安心な水でした。

そして、その水でコシヒカリのお米を洗って、食べて満足していましたが、息子や孫の家に行ってご飯を食べるとどうも違います。おいしいんです！どうしても腑に落ちません。これだけ水にこだわっ



てご飯を食べているのに、なんでやろ？

息子たちに聞いてみたら、「水の機械を取り付けた」と言います。そんな馬鹿なことがあるかと思ながらも、騙されたつもりで私も取り付けました。

びっくりしたことに、本当にご飯がおいしいんです!!!。

以前からこのチラシで読んでいたので、水の機械があることは知っていましたが、本当にそうだと信じられなかったもので、全く気にしていなかったのですが、色々な面で普通の水とは全く違います。飲み口もやわらかいし、お風呂に入ってもあったかくなれる気がします。取り付けて本当に良かったと思います。

子育て世代の健康住宅作りを応援します

有限会社 **石丸ハウスセンター**

一級建築士事務所

TEL 82-5533

FAX 82-5537

〒913-0044 福井県坂井市三国町山王4丁目5-31 ホームページ <http://ishimaru-housecenter.co.jp>

この「おたより」ももうすぐ10年になります。最初はいつまで続くかな？なんて不安でしたが何とか10年にたどり着きそうです。60号の「おたより」を出させていただく時には、何か些細なプレゼントでもできたらと思っています。